

掃除は親孝行実践の場

神奈川県

天明 てんみやう
茂 しげる



「世直しは余(自分)直しである」と聞いたことがあります。掃除の神髄はここにあると思います。それは、掃除は問題を他人のせいにならず、自らの心を磨き成長することで、社会を良くする活動だと信じるからです。

お掃除体験の浅い私ですが、一

番心に残っているのは、2018年の東京築地市場のトイレ清掃大会です。豊洲への移転により、築地は閉鎖が決まり、トイレをきれいにしてお返ししようという趣旨でしたが、私にとっては親孝行実践の場でした。というのは、私の父は魚屋で、24歳で行商を始め長男に引き継ぐまでの40年近く築地に仕入れに来ていたのです。私が市場に入ったのは75歳にして初めてでした。

休日で閑散としているなか、掃除が始まりました。父は40年近く、この汚れたトイレで用を足していたのかと思うと涙が流れました。親孝行の真似事もできなかつた私ですが、このときばかりは「父がお世話になり、ありがとうございます」と何度も唱えながら、お

詫びのお掃除をさせていただきました。何やら父が喜んでくれたようで、嬉しく感じました。

鍵山相談役は、疎開先でご両親が掃除する姿を見てきたことが、掃除道の原点になっていると書かれています。私の父母も掃除は徹底してやっていました。でも私の場合は、両親のその姿を見ても何も感じなかったことが恥ずかしくなります。せめて子どもや孫には、この思想と習慣を日本の文化としてしっかり継承してほしいと願うばかりです。

日本を美しくする会の40周年、50周年に向け、掃除道が人びとの心に定着し、日本から世界に広がっていくことを願ってやみません。感謝合掌。

(213)0015 川崎市高津区梶ヶ谷5-10-12

ひとつひとつを丁寧

熊本県

埜口 のぐち

経司 たてし



若さで突き進む教師人生を送っていた私は、40歳を境にさまざまな出来事に遭遇しました。

そして2011年の東日本大震災。テレビで見る現地のあまりの悲惨さに衝撃を覚え、ボランティアをしようかと心に誓いました。熊本から東北へ行く手段を

ネットで見つけたのが、尼崎からのバスでした。何度も参加しているうちに、その無料バスは「日本を美しくする会」と鍵山先生のご厚意から出ていると知りました。

私は、鍵山先生のお名前はその15年前に知っていましたが、お会いしたのは復興ボランティアが初めてで、その後何度もお掃除を一緒にさせていただきました。

トイレの床をたわしで磨いていたときです。隣で鍵山先生も磨き始められました。一瞬私の右腕は止まり、目は先生の動作と泡の立ち方に釘付けとなりました。円を描く右手の動きは柔らかく、泡立ちも汚れの取れ方もまったく違うのです。「なぜ泡がそんなに立つのですか」とお聞きすると、先生は「丁寧に大きく回

す。これを繰り返すことですよ」と。先生の経験の深さと重みを感じて、これを生活に生かさねばと痛感しました。

それ以来私は、「物事を丁寧にやる。続ける」と自分に言い聞かせ、生徒の指導方針を変えていきました。部活動の顧問のときは、生徒とゴミ拾いを毎朝続けました。そのうち生徒に気づきと行動力が身につき、彼らは高校一年時には難しいと思われた全国大会出場を、三年時で成し遂げました。

ひとつひとつを丁寧にすることは難しい。しかしそれに挑戦することで、私の目の配り方や言葉のかけ方が変わり、教師としての生き方が変わりました。

気づきが感性を磨く

東京都

中村 なかむら
修 おさむ



ようになった。

私は元来、後先あまり考えずに行動するタイプであったが、その性格はだいぶ直ってきた。

十数年前、初参加した掃除に学ぶ会で、それまで漫然とやっていたやり方が、いかに非効率でむだの多い、仕上がりの悪い掃除であったかを思い知らされた。

素手でトイレ掃除？ しかも便器を……。何で素手でやらなければならぬのか。ゴム手袋とブラシでやればよい。最初そう思った。しかしそうではなかった。

ゴム手袋をしていては、しっかりと道具が握れない、細かい汚れに気づかない、素手で触ると汚れの落ちがわかる。目に見えるものは表面上のことだ、見えないところにこそ注意を払う。

感覚を研ぎ澄まし、これでもかと取り組む。すると、これ以上きれいにはならないだろうと思っていた便器が、白さをさらに増し、不快なおいも消え、開け放たれた窓から清々しい風が吹き込んでくる。

やりきった満足感と達成感がある。これこそが「鍵山掃除道」の神髄だと思えます。

感覚をとぎ澄ますと、吹く風や雲の流れ、柔らかな日の光に、何処からともなく漂ってくる草花の香りに季節の移ろいを感じます。

たかが掃除、されど掃除。私は「鍵山掃除道」に多くの学びをいただきました。これからも生活のあらゆる場面で、掃除道を生きる指針としていきたい。

(195-0074 東京都町田市山崎町1-2-23 4-A-603)

掃除をしていると、さまざまなおことに気づく。準備、方法、後始末など、そのたびに学びがあった。掃除での気づきは、生活のさまざまな場面でもあった。「やるべきことの優先順位をつける」「思い立ったら即行動」「やり方はこれで良いか？」など、考えて行動する

汚れに向き合うことと 問題に向き合うことは同じ

大阪府

松原^{まつばら}

真紀^{まき}



私にトイレ掃除とのキツカケをつくってくれたのは、わが家の三男(弘明)でした。息子の学校では、「トイレがあまりにも汚い」という話がいつも出ていました。そこでPTAの皆さんでトイレを掃除したのですが、一向に臭いが

取れません。2008年のことで
す。

困り果てて、主人がお世話になつていた盛和塾の欠野アズ紗先生に相談しました。欠野先生は大阪メチャッピー祭を立ち上げたことで、「日本を美しくする会」の鍵山秀三郎様とご懇意でした。先生から「大阪掃除に学ぶ会」を紹介いただいて、私は例会に参加してみました。

トイレ掃除が終わると、トイレは見事にきれいになり、しかも臭いもすっかり取れたことに感動しました。その後、子どもものの学校のトイレを、PTAの皆さんと、掃除に学ぶ会で習った方法で掃除するときれいになりました。私
はそれ以来、掃除に学ぶ会の例会にはずっと参加させていた

いています。

どんなに汚いトイレでも、きれいにするときつと爽やかな風が吹くと信じると、無心に掃除ができます。取れない汚れをむやみにこすると、余計に汚くなる場合もあります。汚れの正体が何であるかと考え、その磨き方や道具を選びます。

これと同じように、日常のいろいろな問題も原因を明らかにして対策しないと、問題が広がります。汚れに向き合うことと問題に向き合うことは同じです。

一緒にお掃除をして学ぶ仲間が多くいることも励みになります。この喜びを与えてくれたお掃除と、そのキツカケをつくってくれた三男に感謝しています。

(589-0005大阪府大阪狭山市狭山4丁目2300-1)

トイレ掃除が

大ピンチを救ってくれました

神奈川県

中鉢 悟ちゅうぱち さとしる



私は、公共事業の土木・建築会社と、住宅建設・不動産業の二つの会社を経営しています。

30年ほど前、経営者仲間が学校や幼稚園のトイレ掃除を一生懸命やっているのを見て、不思議に思っていました。「なぜ、経営者の勉強会でトイレ掃除をやる

のか」と。私も誘われましたが、お断りしていました。

2002年、そんな私に突然大事件が起こりました。取引先が倒産して工事代金が回収不能になり、1億円を超える負債を抱えたのです。私は資金繰りに追われ、神経が病んでしまいました。

途方に暮れていたとき、「トイレ掃除するとお金持ちになれるよ!」って声をかけてもらいました。私が横目で見っていた、トイレ掃除の研修をしていた社長さんでした。この言葉こそ、トイレ掃除に学び始めるきっかけとなりました。

工事現場も汚くて、事故やクレームばかりでしたが、トイレ掃除に学び始めてから、現場はどんどんきれいになっていきました。

きれいになるに当たって、事故やクレームが減ってきました。

トイレ掃除がわが社の倒産の大ピンチを救ってくれたのです。

悪夢の出来事から20年。こうして生きていられることは、あの言葉はまんざら嘘ではない! ことが証明されました。

「大ピンチを救ってくれたお掃除に恩返しをしたい! 私と同じように苦しんでいる人たを救いたい!」という思いから、YouTube「掃除に学ぼう!」チャンネルをスタートしました。

コロナと戦争でボロボロになった経済再生のお役に立ため、私たちの会社は100年企業・100億円企業をめざしていきます。

(241-0005 神奈川県横浜市旭区白根2-31-3 502)

「尼崎不尽掃除に学ぶ会」に 参加して

兵庫県

村山 順子
むらやま じゅんこ



ひたむきな姿勢に感動！

2021年7月から、「尼崎不尽掃除に学ぶ会」に参加させていただいております。掃除に学ぶ会って良いですね！ まず身体を使って行動する！ その中で気づきや思いやり、人や物への感謝の心が自然に湧きあがってき

ます。

リーダー町田豊彦さんを中心に、担当を決め、嬉々と取り組まれる皆様のお姿に感動します。掃除用具の扱い方、仕舞い方、一滴の水跡も残さずサビがこないようオイルを塗るなど、次に使う人のために思っって片付けられて…。

人として大切なことを、掃除を通して学べる嬉しい体験でした。皆様の謙虚で純なお心と、ひたむきな姿勢に触れ、お仲間に入れていただけたことが嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、幸せな家庭づくり、働く女性のための家事代行サービス会社を運営するとともに、全国にあたたかい心を届ける手紙の活動を実践しています。

そこでご縁をいただき、2010

年一般社団法人「実践人の家」に入会しました。2021年6月から役員になり、役員会前に「尼崎不尽掃除に学ぶ会」でお掃除会があることを知りました。

以前から「日本を美しくする会」の鍵山秀三郎先生のことには存じ上げておりましたが、自ら求めて参加する勇気がありませんでした。膝が不自由な私ですが、皆様と活動できることが嬉しく、喜んで参加しております。

鍵山先生のお言葉「最大のサービスは君の人格を上げること」は、生涯の課題です。掃除の後は、心に爽やかな風が吹き渡っています。これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(651-0054兵庫県神戸市中央区野崎通2-2-6)

やっておいてよかった

山口県 村田 美津子



結婚して7年で、主人が旅たちました。生活のために、子どもを育てるために生きてきました。手仕事が好きなのは、家で手作り商品を作り、お店に卸していました。

20年くらい前、子どもが大きくなり、少し時間に余裕が出てきたときに、会社勤めをしませんかとお話がありました。「下関唐戸魚市場(株)」でした。

そこでは、松村久社長から、最初はハガキ道、そして玄米菜食、掃除などを教わりました。特にお掃除の会にお誘いいただいて、鍵山相談役に出逢ってから、私の人生は大きく変わりました。

相談役から学んだ一番のことは、自分のことばかりでなく、周りの人や世の中のことに向けることが幸せになる道だということでした。

掃除仲間は、職業や地位に関係なく平等で、悩んで落ち込んでいる人がいれば、「町内会」と称して飲み会を開いて励まします。

みな心が一つになる楽しい下関の掃除仲間は、かけがえのない人々です。

今大きな時代の転換期にきました。新しい時代に入り、ますます本当のことを追い求め、強い精神力が必要になります。

それを身につけるには、トイレ掃除のように、無言で集中する時間が必要です。自分の中から湧き出て溢れるエネルギーを蓄え、自分を養うよう努めてまいります。

最後にここまで育ててくださった鍵山秀三郎氏、掃除の仲間、森羅万象、全ての物に感謝致します。ありがとうございます。

(752 0969 山口県下関市長府宮の内町5-6)

いつも見ているもの

兵庫眞

三谷^{みたに}

麻衣^{まい}

中学校の教員になってまもなく、尊敬する先生から「凡事徹底」という言葉を教えていただき、鍵山掃除道を知りました。

初めて会に参加し、神社のトイレの便器に手をかけたとき、心のどこかに「嫌だ」と思う気持ちがあり、そう思う自分の心が汚く思えて、複雑な気持ちになったのを覚えています。

その後日本を美しくする会の皆様のお世話で、当時の勤務校で掃除に学ぶ会を開催していただきました。

「いつも見ているものに心は似

てくる」という言葉に、自分は何を見ようとしていたのかを問いかげられます。

鍵山掃除道に出会い、大切なことを多く教わりました。汚れと向き合い方。体の使い方。力を入れるのは片手か両手か。体の正面の向き。手に伝わる温度。耳に伝わる音。匂い。どんな道具を使うのか。その手順。無理矢理問題を取り去ろうとしていないか。中途半端に終わらせようとしていないか。そして「ごめんさい」と「ありがとう」の気持ち。

普段見えない排水口の釣鐘に最初に手を伸ばした方のお姿を見たとき、自分はいかに見えているものしか見ようとしていないかを突きつけられました。

向きの揃った掃除道具、繊維

の短くなったたわしや使い込まれたサンドメッシュは美しく見えました。物や場所を大切にすることは、自分を大切にすることに似ていると思いました。

掃除をする場所や汚れやゴミや抜いた草が、大切なことを伝え、支えてくれていることに気づけたのは、掃除に出会えたからです。

掃除に学んだことは、掃除の時間は今までの自分の生き方と向き合う時間だということ。教員になり15年が経ちまし

た。未だ反省ばかりの自分を抱え、学校の掃除やゴミ拾いをする日々です。掃除に学んだこと、日本を美しくする会や便教会の皆様から教えていただいたことを宝にし、これからも子どもたちと過ごしたいと思えます。

感動の輪を広げる トイレ清掃体験事業

長崎県 二瓶^{にへい}芳信^{よしのぶ}



湧き上がる感動を押しさえることができなかった。

2020年、佐世保明るい社会づくり運動推進協議会(明社協)が、トイレ清掃大会を5年ぶりに開催したときのことである。私が明社協事務局員となって2

年目の、初の取り組みであった。

明社協のトイレ清掃体験事業は、2002年に佐世保市制百周年記念協賛事業として開催されたことに始まる。鍵山先生の講演も行われ、市内3校のトイレ清掃体験に千五百名を超える人が参加した。以来市内11校で開催してきたが、いつしか佐世保掃除に学ぶ会も活動を休止されており、この年は九州全域からの応援により開催された。

私はトイレ清掃体験の意義を知らずにいたが、資料を読み準備を進めるにつれて、当協議会の「豊かな社会づくりに貢献する」という理念に一致することを理解した。そしてこれをどのように体験校の皆さんに伝えるかと悩み始めた。しかし始めてすぐ、それは

杞憂に過ぎないとわかった。

生徒は、明るく熱心に便器を磨いている。感想文には、「達成感を得ることができた」「人のためになることは楽しいと実感した」などとあり、トイレ清掃を実践することにより、「自分の心を磨く」という学びが、自ずとできていたのである。

言って聞かせるより、実践することが何より大切であると思われ知らされた。九州ブロックの皆様トイレ清掃にかける情熱の根源も理解できた。当協議会は今後もこの事業を続け、感動の輪を広げ、ひいては平和で明るい生きたがいのある健全な社会づくりに貢献したいと考えている。

(857)0053 長崎県佐世保市常盤町6-1 まちなかコミュニティセンター内 佐世保明社協